

## 2022年度 保育園・保育士の自己評価

特定非営利活動法人深川市公私連携保育会

「保育所保育指針」において、保育士及び保育所の自己評価並びにその公表が努力義務とされています。当法人ではこれに基づき検討し、保育の質の向上を図るため、保育園及び保育士の自己評価を実施しました。

評価の結果を踏まえ、今後の保育計画・保育内容等の改善に活かし、改善していくことでより良い保育を提供できるよう努力していきます。

| 新中央保育園の自己評価   |                                    |    |   |   |
|---|------------------------------------|----|---|---|
| <p>2022年度、保育園及び職員の自己評価について下記の通りご報告いたします。総合評価は最後に記載しています。</p> <p>ねらい：保育所の役割や社会的責任を遂行するために、法令等を遵守し、保育所を取り巻く社会情勢などを踏まえ、その専門性の向上に努め、望ましい保育所運営をするため、今年度の当保育園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画(全体的な計画)に生かすため本表を活用します。</p> |                                    |    |   |   |
| <p>評価の目安：A・・・出来ている<br/>                     B・・・ある程度出来ているが十分ではない<br/>                     C・・・あまり出来ていない又は出来ていない</p> <p>回答者：園長 北出清美</p>  |                                    |    |   |   |
| 自己評価の観点・内容  |                                    | 評価 |   |   |
|   |                                    | A  | B | C |
| 1<br>保育<br>目標<br>について   | (1) 子どもの最善の利益を考慮した「保育理念」が明示されているか。 | ○  |   |   |
|   | (2) 保育理念に基づく基本方針・目標が明示されているか。      | ○  |   |   |
|   | (3) 保育方針・保育目標が活かされるような保育内容を考えているか。 | ○  |   |   |
|   | (4) 年齢別目標は、保育目標や乳幼児の実態に即して設定しているか。 | ○  |   |   |
|   | (5) 目標は前年度の反省を活かしているか。             | ○  |   |   |
|   | (6) 理念や方針、目標が職員、利用者に周知されているか。      | ○  |   |   |
| ○評価の根拠、●改善策   |                                    |    |   |   |
| <p>○保育所保育指針に基づき、全体的な計画、年間指導計画、月案、週案を作成している。</p> <p>○ホームページ、重要事項説明書、全体的な計画等に保育目標、方針、理念を載せ周知している。</p>   |                                    |    |   |   |

| 自己評価の観点・内容   |   | 評価 |   |   |
|--|---|----|---|---|
|  |   | A  | B | C |
| 2<br>保育・<br>行事について   | (1) 保育計画(全体的な計画)が保育方針に基づき作成されているか。            | ○  |   |   |
|  | (2) 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき指導計画を改定しているか。      | ○  |   |   |
|  | (3) 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。               | ○  |   |   |
|  | (4) 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めているか。             | ○  |   |   |
|  | (5) 子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができ、見通しを持ちながら進めているか。 | ○  |   |   |
|  | (6) 子どもが自発的に活動できる環境が整備されているか。                 |    | ○ |   |
|  | (7) 様々な表現活動が体験できるように配慮されているか。                 | ○  |   |   |
|  | (8) 同年齢及び異年齢児間の効果的活動の充実を図っているか。               |    | ○ |   |
|  | (9) 行事のねらいや実施回数などの内容を検討し、改善に努めているか。           | ○  |   |   |
|  | (10) 保護者の願いや意見を取り入れているか。                      |    | ○ |   |
|  | (11) 評価結果を基に保育の改善に努めているか。PDCA サイクルを取り入れているか。  |    | ○ |   |
| ○評価の根拠、●改善策  |   |    |   |   |
| <p>○今年度も新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、行事の縮小化や内容が制限された。コロナ陽性者の発生に伴い、臨時休園が続いたり、日常の保育も異年齢児の活動ができず、クラスでの保育が多くなっていた。</p> <p>○各年齢ごとに子ども達の育ちを捉えながら無理のない活動ができるよう心掛けている。様々な状況に配慮しながら長期的な見通しを持って保育をしていく。</p> <p>●子どもの実態は刻々と変わっていくため、常に目の前の子どもの姿と自分の保育を振り返り、計画をより実際に即したものに改善していく。</p> <p>※主任保育士より</p> <p>●今年度は3歳以上児の希望する保護者を対象に、担任との個人面談を行った。保護者からの相談や園に対する貴重なご意見なども聞くことが出来る場となった。今後も引き続き取り組むこととする。</p> |   |    |   |   |

| 自己評価の観点・内容     |   | 評価 |   |   |
|----------------|---|----|---|---|
|                |   | A  | B | C |
| 3<br>健康・安全について | (1) 保育士・調理員が連携し、アレルギー児に対応する環境・体制にあるか。           | ○  |   |   |
|                | (2) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。       | ○  |   |   |
|                | (3) 危機管理意識を持ち、緊急時の対応できる体制・マニュアルの作成、保健対策を講じているか。 |    | ○ |   |
|                | (4) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。             |    | ○ |   |
|                | (5) 不審者等に対する周到な配慮を行っているか。                       |    | ○ |   |
|                | (6) 乳幼児の安全のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。          | ○  |   |   |
|                | (7) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。                    | ○  |   |   |
|                | (8) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管されているか。                | ○  |   |   |

○評価の根拠、●改善策

●不審者等に対する安全訓練は、今年度中に職員向けに講習会の実施を予定している。

※主任保育士より

●緊急時の対応マニュアルなどの研修会等を行い、職員への周知徹底を図り危機管理意識の向上に努めたい。

|             |   |   |  |  |
|-------------|---|---|--|--|
| 4<br>食育について | (1) 食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせ、食育計画を立て、実践しているか。 | ○ |  |  |
|             | (2) 旬の食材や行事食を取り入れ、様々な食材に触れ、味わえるようにしているか。  | ○ |  |  |
|             | (3) 評価結果を元に食育の改善に努めているか。                  | ○ |  |  |

○評価の根拠、●改善策

○保育園の菜園で栽培、収穫した旬の野菜を味わうことで、苦手な野菜や食材も積極的に食べる姿が見られた。

※主任保育士より

○保育士、栄養士、調理員とで毎月給食会議を行い、食材やメニューについて話し合いながらメニュー決定などを行っている。

| 自己評価の観点・内容  |   | 評価 |   |   |
|---|---|----|---|---|
|   |   | A  | B | C |
| 5<br>つ<br>つ<br>要<br>保<br>護<br>・<br>要<br>支<br>援<br>児<br>童<br>に | (1) 虐待が疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに園長に届くようになっているか。         | ○  |   |   |
|   | (2) 虐待が疑われる子どもの保護者への対応について、市関係機関、児童相談所等に通告、照合する体制が整っているか。 | ○  |   |   |
|   | (3) 特別な支援を要する子どもに対して、職員全員で情報を共有し、チームで対応しているか。             | ○  |   |   |
|   | (4) 特別な支援を要する子どもに対して、個別の指導計画を作成しているか。                     | ○  |   |   |
|   | (5) 特別な支援を要する子どもに対して、家庭や専門機関と連携を図っているか。                   | ○  |   |   |
| ○評価の根拠、●改善策   |   |    |   |   |
| ○特別な支援を要する子どもに対して、個別指導計画を作成した。職員全員で情報を共有し、家庭や専門機関との連携に努めている。  |   |    |   |   |

|   |  |   |   |  |
|---|--|---|---|--|
| 6<br>組<br>織<br>・<br>運<br>営<br>に<br>つ<br>い<br>て  | (1) 能率的・合理的な運営組織になっているか。                           | ○ |   |  |
|   | (2) 各種会議や打合せの回数、時間、内容は適切かつ効率的か。                    | ○ |   |  |
|   | (3) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。 | ○ |   |  |
|   | (4) 職員間の連携が取れ、報告・連絡・相談等ができ、共同できる体制になっているか。         | ○ |   |  |
|   | (5) 事業計画の策定、評価、見直しは組織的に行われているか。                    |   | ○ |  |
|   | (6) 事業計画は職員、保護者に周知されているか。                          | ○ |   |  |
|   | (7) 職員の意見を聞いたり、話し合う場を定期的に持っているか。                   | ○ |   |  |
|   | (8) 評価や記録を集積しているか。                                 | ○ |   |  |
|   | (9) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。                        |   | ○ |  |
|   | (10) 苦情解決の体制づくりは出来ているか。                            | ○ |   |  |
| ○評価の根拠、●改善策   |  |   |   |  |
| ○今年度は各クラス複数担任とし、リーダーを置いた。定期的に主任保育士とリーダーとで会議を実施し、日々の保育や行事などについて話し合い、現場の状況を把握するとともに、情報を共有している。                    |  |   |   |  |
| ※主任保育士より  |  |   |   |  |
| ●事業計画については、コロナの影響が続いていることもあり、計画通りに行事は行われているが、感染対策のために縮小、中止となっている行事もあるため、今後は感染対策をしながらでも充実した行事が行えるように見直しを行っていきたい。 |  |   |   |  |

| 自己評価の観点・内容  |  | 評価 |   |   |
|---|--|----|---|---|
|   |  | A  | B | C |
| 7<br>研究・研修について  | (1) 研究・研修は保育目標の具体化につながるものであるか。         | ○  |   |   |
|   | (2) 研究・研修の計画・運営は適切か。                   | ○  |   |   |
|   | (3) 研究・研修の成果を日常保育に活かし、乳幼児の育ちに反映できているか。 |    | ○ |   |
|   | (4) 研修の実践による子どもの理解が深まりを見せているか。         | ○  |   |   |
|   | (5) 各種研究会・研修会・講習会等への参加体制ができているか。       | ○  |   |   |
|   | (6) 各種研修会・講習会等での内容を園内に報告・還元しているか。      |    | ○ |   |
| ○評価の根拠、●改善策   |  |    |   |   |
| ●今年度もコロナウィルス感染拡大防止のため、研修に参加する機会少なかった。キャリアアップ研修や園外研修での内容を園内に報告、還元し日々の保育に活かせるようさらに努力していく。 |  |    |   |   |

|                             |                                  |   |  |  |
|-----------------------------|----------------------------------|---|--|--|
| 8<br>情報について                 | (1) 子どもや保護者に関する個人情報을適正に取り扱っているか。 | ○ |  |  |
|                             | (2) 知り得た情報等の守秘義務を果たしているか。        | ○ |  |  |
|                             | (3) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。       | ○ |  |  |
|                             | (4) 各帳簿は、適切な方法で作成・処理しているか。       | ○ |  |  |
|                             | (5) 園だより、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。  | ○ |  |  |
|                             | (6) 掲示板、掲示場所を適切かつ効果的に活用しているか。    | ○ |  |  |
| ○評価の根拠、●改善策                 |                                  |   |  |  |
| ○個人情報に関する書類等は、鍵付きの棚に保管している。 |                                  |   |  |  |

| 自己評価の観点・内容   |  | 評価 |   |   |
|--|--|----|---|---|
|  |  | A  | B | C |
| 9<br>地域連携・子育て支援について  | (1) 地域との関係が適切に保たれているか。                       | ○  |   |   |
|  | (2) 保育園が有する機能を地域に還元しているか。                    | ○  |   |   |
|  | (3) 地域に住む子ども同士や親子と一緒に遊ぶことが出来るような場の設定を行っているか。 | ○  |   |   |
|  | (4) 子どもの興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。       |    | ○ |   |
|  | (5) 育児に係る「子育て相談」は充実しているか。                    | ○  |   |   |
|  | (6) 専門機関との連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。        | ○  |   |   |
| ○評価の根拠、●改善策  |  |    |   |   |
| ●公共機関及び施設を交流、利用することが今年度もできていない。今後は、地域との交流を積極的に持てるよう工夫していきたい。 |  |    |   |   |

|      |   |
|------|---|
| 総合評価 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度もコロナウイルス感染拡大防止のため、行事の縮小化や内容が制限された。その中で運動会、発表会、りんご狩り(年長児)に加え、保護者懇談会を実施することができた。</li> <li>・運動会は昨年同様3歳未満児、3歳以上児の2部構成にした。短い時間だったが、子ども達の元気な姿を伝えることができた。</li> <li>・発表会はクラス毎の発表になったが、子ども達の成長した姿を見てもらえたと思う。</li> <li>・今年度も畑作りを通して作物の成長や食の大切さを知ることができた。年長児を中心にじゃが芋、ミニトマト、ピーマンの苗を植え、収穫し全園児で食べた。今年はじゃが芋掘りも経験でき良かった。コロナが流行しタイミングが合わず、クッキングが計画できなかった。後半、頃合いを見てお弁当作りなどができたらと思う。</li> <li>・年長児に限られたが、りんご狩り体験を実施することができた。大型バスに乗る経験やりんごの木から自分でりんごをもぐことができ、十分楽しむことができた。</li> <li>・保育実習生、看護実習生、中・高生の職場体験の受け入れにより、保育者以外の様々な年齢の人たちと子ども達が触れ合う機会を多く持てた。</li> <li>・今後も子ども達が楽しめる毎日、安心して預けられる保育園となるよう努力をしていきたい。</li> </ul> |
|------|---|